

# 紅花 de つながる

～地域・人・学び～

児童数 35名

## 1 単元の構想

### つけたい実践力

知識・技能

思考・判断・表現

- ・見通しをもって、粘り強く探究的な学習に取り組む。
- ・専門家から知識を得る手段があることを理解し、相手や場面に応じてインタビューする。
- ・友達の意見や感想、専門家の助言を取り入れ、課題解決にいかす。
- ・遠隔地にいる相手とつながる方法を知り、情報を整理して適切な方法で伝える。
- ・自分達の活動がねらいに沿ったものになっていたか振り返る。



手立て	<b>主体的</b>	<b>協働的</b>	<b>自立的</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・題材に活動の幅を感じさせるために、導入で紅花の専門家の話を聞いたり、製品・食品等について調べたりさせる。</li> <li>・伝える内容を焦点化させるために、目的の達成に相応しい相手を吟味して決定させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの考えをよりよいものにしていくために、意見や感想を伝え合ったり、専門家や紅花を知らない人から助言をいただいたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しをもって探究的な学習に取り組めるように、既習事項を想起させる。</li> <li>・小单元ごとに、気づきや発見があったかなど、視点を明確にして振り返らせる。</li> </ul>

## 2 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 紅花栽培や製品開発の歴史について知ること、先人の努力や工夫について理解している。 ② インタビューやアンケートなど、相手や場面に応じた方法で取材を実施している。 ③ 紅花についての理解や地域の発展に資する活動の変容は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	① 紅花の活用方法について、目的と相手を意識し、それに応じた課題を、自分事として設定している。 ② 紅花の活用方法を知るために、必要な情報について多様な方法で収集したり、自ら体験して情報収集したりしている。 ③ 紅花の活用方法を知るために、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関連付けたりしながら解決に向けて考えている。 ④ 紅花のよさをPRするために、図や写真を用いて効果的に表したり、情報を取捨選択したりしてポイントを絞り簡潔に伝えている。	① 紅花のよさを体験したり、PRしたりする取組を、振り返りながら進め、自分の意思で探究的な活動に取り組んでいる。 ② 探究的な活動を通して、役割を分担したり、自他の考えをいかしたりしながら、協働して課題解決に取り組んでいる。 ③ 紅花を用いた活動を通して、自分達が住んでいる県に誇りをもって、課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。

### 3 単元について

昨年度、本学級児童は「お米 to つながる」と題し、JA上郷青年部の方にご指導いただきながら米作りを行い、現在の米作に課題意識をもち、全校児童や保護者、スポーツをする人・観光客等に「米のよさ」をPRし、米の消費量拡大を願った活動を行った。

今年度は「米沢市地域振興課 相田氏」、「紅花栽培農家 鈴木氏」、「米沢商工会議所 高野氏」「県立置賜農業高等学校3年生」の協力を得ながら、紅花を自分たちで栽培したり、加工品を作ったりする体験を通して気づいた、「紅花のよさ」や特徴をPRしたい。昨年度から交流のある沖縄市立越来小学校の5年生へオンラインでの交流や、修学旅行先の宮城県仙台市でのパンフレット配布、山形県民にも紅花のよさを再認識してもらう活動をねらう。

紅花は、山形県の県花であり、貴重な地域資源である。紅花は初夏の花であり、見頃は1か月程度であるが、祭りや染物、食べ物等で一年中楽しめることを広めさせたい。この活動を通して、目的や相手に応じ、伝えたいことをよりよく伝える力が身に付くと考える。

昨年度のパンフレット作りの反省から、紅花のPRに向けて相手意識をもたせてパンフレットやアンケートの内容を吟味させたい。また、昨年度パンフレットにQRコードを載せ、グーグルフォームによるアンケートを行い、自分たちの活動や収穫した米、消費量拡大に向けての取組について不特定多数の方から評価をいただいた。配布したパンフレットの3分の1程度の回答であったことを想起させ、より紅花に関心をもってもらえる内容に迫りたい。

### 4 活動の流れと評価の計画（全50時間 本時41/50）

学習活動（時数）	知	思	態	評価方法
<b>【課題の設定】</b> ・昨年度調べてきたことを振り返り、広げたり深めたりするために学習計画を立てる。（1） ・紅花の栽培を行うにあたり、自分達で事前に栽培方法やポイントをおさえ、専門家に確認しながら進める。（8） ・県立置賜農業高等学校の生徒や、米沢市地域振興課の方に話を聞いて知識を得て紅花の活用方法を考える。（3） ・紅花をPRする相手や内容を考える。（2）		①		・発言内容 ・ウェビング ・ピラミッドチャート ・振り返り ・Google スライド
<b>【情報の収集】</b> ・収穫した紅花を用いて乱花づくりや紅餅づくり、紅花染めや加工品を作る体験を通して、紅花のよさを実感する。さらに、食に特化している本校4年生から「食」に関する情報を収集する。（8） ・本やインターネット、パンフレットなどを活用して情報を収集する。（7）	①	②	① ③	・行動観察 ・学習シート ・振り返り
<b>【整理・分析】</b> ・思考ツールを用いて、伝えたい情報を整理する。（3） ・紅花に関する活動記録を基にスライドにまとめる。（4） ・意見や感想を伝え合い、グループで内容を検討する。（3） ・沖縄県越来小学校の5年生にオンラインで交流を行い、アドバイスをもらう。（1）	③ ①	③ ④ ③ ①		・発言内容 ・ピラミッドチャート ・振り返り ・スライド
<b>本時</b> ・専門家や他県の方に助言をいただき、自分達の考えを再構築する（2）			②	
<b>【まとめ・表現】</b> ・スライドを集約しパンフレットにする。（2） ・宮城県仙台市で一般客にPRする。（1） ・制作した加工品を上郷小フェスティバルでPRし、販売する。（2） ・道の駅よねざわでPRする。（1） ・アンケートの回答も含めて自分達の活動を振り返り、協力者への報告を行う。（2）	② ②	④ ④	① ② ③	・発言内容 ・行動観察 ・Google スライド ・振り返り

## 5 本時について（本時 41 / 50時間）

### （1）つけたい実践力

山形県の紅花のよさをPRするために、他者からの助言や友達の意見に耳を傾け、友達と協働しながら内容を吟味しながらまとめている。

### （2）子ども主体の学びの姿

- ・紅花を知らない土地の人からの質問やアドバイスをもとに、自分たちが体験した紅花のよさや紅花の歴史について、よりよく伝わる方法を考える。（主）
- ・知識や経験を活用し話し合う活動を通して、紅花のよさが相手に伝わる内容になっているかを判断している。（協）
- ・学びの価値を見だし、新たな課題に気付いたりしながら、活動を振り返っている。（自）

### 本時の展開

時間 (分)	○学習活動 ・予想される子どもの思考	支援等（・） 評価（◆）
5	<p>○本時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットに載せる内容を吟味してグループごとに内容を決定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     アドバイスをもとにパンフレットの内容を吟味しよう。                 </div> <p>○4グループで視点に沿って内容を吟味する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">色グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">歴史・育て方グループ</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">食花グループ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">加工品グループ</div> </div> <p style="text-align: right;">※各2グループ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><u>視点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紅花のよさを伝えられているか</li> <li>・体験したことが含まれているか</li> <li>・紅花を知らない人が「なるほど」と思うか</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越来小学校の児童との交流でポイントとなる言葉を提示し、本時の見通しにつなげる。（自）</li> <li>・越来小学校の児童からのアドバイスをもとに、紅花を知らない人に紅花のよさが伝わる内容になっているか検討する。（主）</li> <li>・同じグループ内で2つに分けて話し合う。</li> <li>・的確に意見や感想を伝えられるように、視点を設定する。（協）</li> <li>・視点について前時に児童とポイントを決めておく。決めた視点の中から、自グループの中に必要な項目を選ぶ。</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紅花染めの発色の秘密をもっと体験したことを入れたい。</li> <li>・歴史には面白エピソードも入れたい。</li> </ul> <p>○同じグループ内で吟味した意見を交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが伝えたいことだけを取り入れるのではなく、相手が知りたいお得情報になっているか話し合わせる。（協）</li> </ul>
25	<p>○内容を練り直す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ方の紹介だけで、作り方のポイントがないな…4年生から1回目と2回目作り方の違いをもう少し詳しく聞いて、紅花のよさが伝わる食べ方を載せたいな。</li> <li>・紅花染めの色を「色」で伝えたい。</li> </ul>	<p>◆探究的な活動を通して、自他の考えをいかしたりしながら、協働して課題解決に取り組んでいる。</p> <p>【態②】 ワークシート・振り返り</p>
30	<p>○本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	
40	<ul style="list-style-type: none"> <li>・越来小学校の人のアドバイスをいかして前回よりポイントをしぼれた。</li> <li>・視点が違うと同じグループでも違う意見が出ていて意見が参考になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを見つめ、自己変容に気付けるように、活動ごとに振り返られるシートを準備する。（自）</li> </ul>

